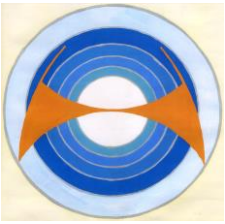

学校だより

１０月号

横浜市立六つ川台小学校
令和３年９月３０日

URL:http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/
E-mail: ky-e-mutsukawadai@city.yokohama.jp

今の自分にできる事

校　長　　本間　　明

夏休みが終わってからのひと月あまり、子どもたちは感染症対策のため２グループに分かれての分散登校、１日おき登校となりました。

私が昔読んだお話に、日本の未来を描いていたものがあって、そこでは子どもたちは１日おきに学校に登校するようになっていました。受験、受験の詰め込み教育から脱して、ゆとりのある学校制度が敷かれていた設定だったのです。そのお話を私が読んだのは20歳の頃で、当時の現実社会は土曜日も学校はお休みではなく、子どもたちは週６日通学していました。「学校に１日おき登校なんて、そんな未来がくるはずない」読みながら私は当然そう思いましたが、今回、期間が区切られた中でではありましたが、１日おき登校が現実となりました。本当に今、昔は思いもよらなかった事が現実となっています。

１日おき登校ではどうにもペースがつかめないし、学校に行っても子どもたちの数は半分でなんだかさびしい――そんなふうに感じていたお子さんもいたかもしれません。

分散登校期間中は、確かにそうだったでしょう。

ただ、物事にはいろいろな面があります。分散登校期間中にも次のような面がありました。

まず、１日おきの登校ですから、単純にお休みが増えました。体を休めたり、本を読んだり、家の仕事の手伝いをしたりと時間を有効に使う事ができたのではないでしょうか。

学校での子どもたちの数が半分になりました。校庭で遊んでいても、教室で過ごしていても、場所に余裕があります。授業中、発表する時も、大勢の人数の前でだとちょっと苦手だけれど、少ない人数の前でなら――そんな人もいたのではないでしょうか。

また、分散登校期間中から、子どもたちは学級での朝の活動として、１人１台配当されたタブレット端末を使い、キーボード入力の練習や、アプリを使った学習などに取り組んできました。操作に徐々に慣れていきながら、使うに当たってのルールやマナー、トラブルに直面した時どうすればいいかなどの対処法などについて少しずつ学んでいってもらえればと考えます。

今回の分散登校は、以上のような事ができる機会だったととらえられます。

今の自分にできる事を見つけ、それに取り組んでいく。そうすると、毎日が充実していくのではないでしょうか。いつだって、その時できる事があります。後から「そういえば、あの時、これができたはずだったようなあ」と思い返す事のないように、その時その時を過ごしていきたいものですね。